

リレー記事 No.56

分別のきまり 再チェック

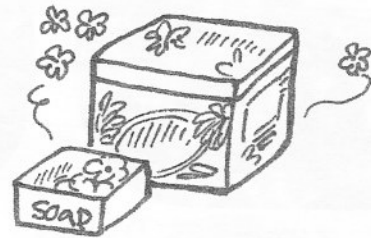
分別のきまりは、変わることがありますし、新しい商品は、廃棄方法を混乱させることもあります。時々、再チェックしてみましょう。

雑紙

古紙再生促進センターに聞きました。「雑紙」に入れられないもの

①箱に香料が残っているもの

(線香や石けんの入っていた箱など)



②防水加工された紙

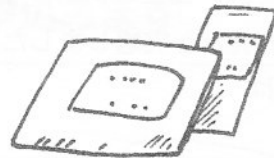
紙コップや紙皿は知っていましたが6本の缶ビールを納めたあの紙！濡れても破れにくいように加工されているので、他のものと一緒には、古紙リサイクルできないそうです。

日常的に出ますし、知らずにたくさん雑紙に入れていました。知らないって怖い！



③粘着物のついた封筒

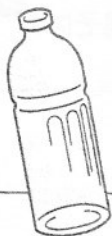
宛名など書いてあるシール等の封筒についた糊は、繊維になった紙にくっつきよれたりする原因になるそうです。シール部分を剥がすか、切り取ればOK！



ペットボトル

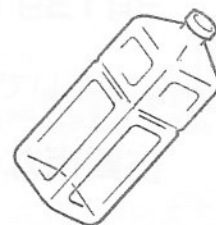
ペットボトルの「分別のきまり」は、回収場所によって異なる場合があります。回収後の処理がスムーズにいくためのきまりですから、処理先が違えば、おのずと分別のきまりは変わります。

古賀市・福津市・新宮町の自治体の分別収集に出すなら



洗って、乾かして、
キャップ・ラベルをはずし、
つぶさず出して下さい。

リングは、はずさなくてもかまいません。



持続可能な社会と「ちょこっと社会貢献(ちょこけん)」



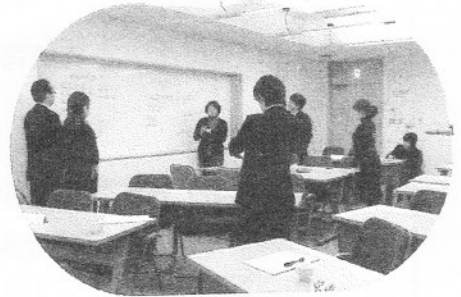
現在エコけんは、環境教育を主な活動としています。環境教育の目的について、環境省ホームページには「持続可能な社会の実現に向けた人づくり」と明記されています。また2005年から国連の「持続可能な開発のための教育の10年」がスタートしています。持続可能な社会には、経済、社会、環境の調和が唱えられ、そのための教育の力に期待が寄せられています。エコけんはこの大きな目的に向け、小さな実践を積み重ね、続けていくことで社会に貢献できたらと考えています。



子どもに



家庭を支える人に



会社で働く人に

エコけんはNPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」の団体会員です

さて、環境教育のキーワードは「関係性」といわれます。持続可能な社会を築く「はじめの一步」は、地域社会に関心を持つこと。そして、自分の力を社会に持ち出すことだといえるでしょう。力を持ち出すといっても、大げさなことではありません。たとえば、門燈をつけたり、子ども達の帰る時間に犬の散歩に行くなども、誰にでもできる小さな社会貢献です。今回、ニュースの配布をされていて、以前よりずっと門燈のついたお宅が増えたと実感しました。すでに地域には小さな輪が広がっているんですね。



お気軽に

「1%クラブ」に参加されませんか。

エコけんの「ちょこけん」の場が1%クラブ。1ヶ月に1度開催しますので、お気軽にご参加下さい。

3月の1%クラブ



3月13日 10:00~15:00 るんるん♪ごみひろい

(ごみ拾いでポイントゲット! 楽しいゲームごみ拾い)

古賀市なの花まつり会場にて (筵内馬術競技場そば)

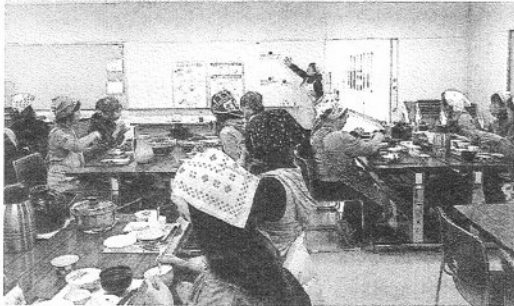


土鍋炊飯付き

1/26 2/9 エコエコワークショップ教室 大好評にて終了しました!!

寒い時期にもかかわらず、2回ともほぼ満員の参加をいただきました。終了後のアンケートでは、なんと全員の方が教室に「満足」と回答いただきました。

2月9日には、福岡県 NPO・ボランティアセンターの広報誌「コンテ」の取材がありました。



この指 と〜まれ!! 「ニュース会員」入会のお願い

今年、エコけんはNPO法人になって10年目を迎えます。その間、あちこちで「エコ」が語られ、実践が呼びかけられるようになりました。私たちは、これからもずっとエコ疲れ(?)しない、「身の丈情報」を発信していきたいと思っています。少々前のめりな私たちの熱い気持ちを、ニュース会員となって受け取って下さい!!そして団体の持続可能性にご協力下さい。私たちも会員の方に「私はエコけんを応援しています。」と胸を張ってもらえるようがんばります。

エコけんニュース会員に申込みます

氏名	
連絡先	<input type="checkbox"/> 住所 <input type="checkbox"/> 電話番号 <input type="checkbox"/> E-mail

会費 (2,000 円/年) 納入方法は申込後、ご連絡します。

TEL/FAX 092-944-3012

会費は主にエコけんニュースの広域配布費用として使っています。

J A粕屋北部プラザの裏にある「まんま実～や」加工所兼事務所に船越さんを訪ねてきました。まんま実～やは、農業を営む女性12人で運営しておられる農村加工所です。JAで出荷できなかった野菜やみかんを生かして、いろいろな加工品を作りだされています。古賀市認定特産品の“たまねぎねーぶる”のドレッシング“みかんに塩だれ”や“らぶ”などです。少しお値段が高いのは、安心して食べれる素材にこだわった商品だからだそうです。

一方で船越さんは、古賀市の食の教室で、古賀の豊かな食や郷土料理を伝える活動をしておられます。まんま実～やの代表として、農家の主婦として忙しい日々を送っておられますが、ご近所とのつながりを大切にして、子どもやお年寄りへの声かけは、あたり前とおっしゃっていました。

まんま実～やのメンバー



あなたのちよこつと社会貢献は

農業女性活動促進事業推進協議会の一員として、コスモス館近くの道路の草取りをしたり、菜の花、コスモス、彼岸花などを植えています。

きっかけは

地域の活性化とやすらぎを与える環境作りとして。

船越さんからは、農業女性としての誇りや、やり甲斐が感じられ、今後のまんま実～やの発展が楽しみになりました。また、団体としてできる小さな行動が、地域の発展にもつながっていくと思いました。

■編集後記

昨年10月に古賀・福津市の一部に新聞折り込み、12月号から今号までを千鳥パークタウンに手配りした「エコけんニュース」。「あら、まだ出していたのね。」と思って下さった方もおられたのではないかと思います。エコけんも持続可能性を求めて、試行錯誤しています。皆様、ご支援の程、よろしくお願いします。

思いを形に

特定非営利活動法人 **エコけん**